

山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行
山形県保険医協会
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル
電話 023 (642) 2838
FAX 023 (642) 2839
購読料 年共1ヵ月 500円
印刷 コロニー印刷
第539号

10月号 TOPICS

秋のPR号

今月号はまだ会員になられていない先生にもお送りしています

保険医協会は、困った時の強い味方です おすすめする6つのポイント

ポイント①

保険請求の減点、返戻の？ にお答えします

協会には多くの保険請求に関する相談が寄せられております。複雑な診療報酬の算定について、場合によっては地域の審査傾向なども踏まえながらわかりやすく回答いたします。

ポイント②

新規指導や個別指導、適時調査などもサポート！

新規指導や個別指導では事前準備からサポートいたします。また、東北厚生局に指導・監査に関する情報公開を求め、指導の指摘事項など公開された情報を会員の先生方に提供します。

ポイント③

保健所の立入検査・院内研修にも対応

医療法で定められた医療安全管理対策、院内感染対策、診療用放射線に係る院内研修用解説動画を年2回（放射線研修は年1回）配信しています。立入検査に対応した書類整備、院内整備などのアドバイスも行っています。

ポイント④

経営や税務、雇用管理など、ご相談に応じます

診療所の閉院や承継、各種補助金の申請や患者からのクレーム対応に至るまで、ご質問や相談にお応えします。

ポイント⑤

生活と経営をサポートする共済制度

万が一の場合に備えるための「グループ生命保険」、怪我や病気での休業したときの保障「保険医休業保障共済保険」、老後の生活保障のための「保険医年金」など、スケールメリットのある共済制度で会員の先生方が安心して診療に専念できるようサポートしています。

ポイント⑥

正確で役立つ情報を発信

診療報酬の改定のたびに医科・歯科別に改定内容に沿った独自のテキストを作成し、会員医療機関に情報提供しています。山形保険医新聞（月1回）、全国保険医新聞（月3回）、月刊保団連（月1回）などの定期刊行物も無料でお届けしています。

山形県保険医協会 第49回定期総会のご案内

日時：2024年11月16日（土）16：00～20：20
会場：大手門パルズ（山形市）

第1部 総会議事 16：00～16：40
（活動方針、予算・決算、役員選挙）

第2部 記念講演 17：00～18：20
紅麹問題を考える
～蔓延する“機能性幻想”に要注意～

講師：群馬大学名誉教授 高橋久仁子氏

◇おなたでも参加できます。事前にお申し込みください◇
◇参加費は無料です

第3部 総会懇親会 18：30～20：20

※会員の皆様へ総会のご案内を10月上旬にお送りしています



山形県保険医協会 2024年後期 医療安全管理
院内研修用テキストとWeb配信のご案内

医科・歯科
保健所立入検査対応

医療安全管理

患者と医療者が協働する医療

未入会の先生は入会のうえ
お申し込みください

院内感染対策

医療事故事例から学ぶ～針刺しおよび血液・体液曝露防止について～

動画解説 山口 育子 認定NPO法人ささえあい医療人権センター
COML (コムル) 理事長

院内感染対策 中島 幸裕 ICD (インフェクションコントロールドクター) 認定医
山形県保険医協会 理事長

動画時間 医療安全管理 45分(予定)
院内感染対策 10分(予定)

視聴期間 10月30日(水)～11月30日(土)

視聴方法 YouTubeによるWeb配信方式
インターネットによる視聴環境をご準備ください
視聴方法、ID、パスワードはテキストに同封します

対象 会員医科・歯科診療所、病院の全ての職員



テキスト、視聴とも
無料です(要申込)

終戦記念日の前日の8月14日、岸田文雄首相が突然、自民党総裁選への立候補を断念すると表明しました。前日までは全くその気配を見せず、統投の立候補を公言してしましたので、突然の表明に大変驚かされました。立候補断念の理由が、自民党の裏金問題に対し、自身が総理・総裁を退くことで責任を取るということですが、何だかいまさら感をぬぐえない感じがします。首相就任当初は「国民の声を聞く」と公言していましたが、多くの医療従事者が反対する、オンライン資格確認の原則義務化やマイン保険証を強引に進め、我々の声には全く耳を傾けてくれませんでした。政治資金規正法改正の効果も限定的で、裏金が発覚した議員は一人も辞職せず、自民党の本質は全く変わらぬと国民に見透かされているのではないのでしょうか。自民党総裁の首をすげかえるだけでは、「政治家はどうせ口だけで、裏では何をやっていくか分からない」という政治不信が国民の間で蔓延しかねません。政治不信の状況であっても、国民を守ってくれる志ある政治家が必ずいるという希望だけは失いたくないと思います。これからの日本の民主主義を諦めないで、素晴らしい政治家がいるなら、その方に一票を投じたいと思わずにはいられません。